

令和2年度 第3回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議 意見結果

ご意見の要旨と市の考え方

No.	委員	項目	ご意見等の要旨	市の考え方
1	澤井委員	活用方法	改修が完了して北海道珈房サッポロ珈琲館が開業した暁には、いろいろな手段で宣伝して多くの人に来てもらうようにすることが肝要と思う。江別4大学の公開講座等を定期的で開催するなど活用方法を検討いただきたい。	ご意見にあるとおり、開業後の活用方法は非常に重要な検討課題であると認識しております。 市内4大学と連携した公開講座等については、施設内に設置する予定のコミュニティスペースを活用するなど、様々な利活用方法を検討してまいります。
2	浦野委員	活用方法	事業計画にある江別市4大学と市民の交流センターとして活用する案は妙案だと思う。ハード改修のみで終了することなく、例えば、民間企業のイベントスペースとしての活用、小麦の町である江別市を市外にPRするマルシェなどを継続的に実施するなど、ソフト面の充実を図ることで、特に市外に対して江別市をプロモートしていく機会が多くなっていくことを期待している。	ご意見にあるとおり、開業後の活用方法は非常に重要な検討課題であると認識しております。 当該施設は、江別市をPRする拠点としての機能も有すると考えられるため、観光所管部署や市内4大学と連携し、江別市の魅力を市内外にプロモートする方法を検討してまいります。
3	田口委員	自然保護について	自然保護維持を念頭に置いた建築設計と考える。 江別の自然豊かさを活かした事業計画で進めていただきたい。	当施設の立地場所は野幌森林公園に近接するなど自然豊かな環境にあることから、ご意見にあるとおり、周辺の自然保護に配慮した利活用となるよう事業者にご要請してまいります。
4	田口委員	利活用する実施主体について	概算事業費の割り当てから鑑みると、江別市のビジネスとして維持管理・事業展開ができなかったのか。 ※一民間組織が主導した場合、ビジネス事業体が撤退した際には江別市としては大きな損失になるのではないかと。また、そうならないためにも契約時に事業継続に関する何かしらの要件をつけているのか。	江別市においては、平成13年度に当施設を国から取得して以降、建物保存を優先し、休憩室や会議室等として活用していましたが、平成21年度から、民間事業者のアイデアを活かした保存・利活用を行うため、事業者を公募してきたところです。 今回の整備計画は、その方針に沿ったものであり、江別市としては、引き続き民間事業者と協力しながら効果的な利活用を図ってまいります。 また、民間事業者による長期的な事業継続を担保するため、施設貸与の契約期間を20年とするよう協議を進めております。

No.	委員	項目	ご意見等の要旨	市の考え方
5	田口委員	地域間連携について	<p>企業誘致は経済発展において重要な視点であるが、今回の企画書や設計図からは具体的な企業連携・大学連携・雇用促進のイメージを描くことができない。</p> <p>多額の投資に対する計画・一民間企業への投資としては、かなりリスクが高いと考える。もう少し構想を具体的に描いていただけると理解しやすかったのではないかと。</p>	<p>利活用事業者の入居後は、「えべつ未来づくりプラットフォーム連携協定」に基づく大学生インターンシップの受入れなどを通じて、人材育成や雇用促進等を図っていく予定としています。また、利活用事業者と地元企業や北海道立総合研究機構産業技術研究本部食品加工研究センター等との連携による新商品の開発を支援していくことを予定しています。</p> <p>市としては、引き続き企業や研究機関等との具体的な連携方法を検討し、事業者を支援してまいります。</p>
6	田口委員	交通インフラについて	<p>地域住民、学生たちが利用しやすい交通インフラを検討すると、一層企画書の実効性が高まるのではないかと。</p> <p>※高齢者が安全に活用できるよう移動手段を確保する必要がある。</p> <p>※市内大学の中には車通学を禁じている大学がある。</p>	<p>交通インフラとして路線バスが走っておりますが、大学生などバスに慣れていない利用希望者もいると考えられることから、交通アクセスの周知方法等について工夫してまいります。</p>
7	田口委員	整備計画について	<p>1階と2階それぞれの目的で使用計画が作成されていると思うが、トイレが1階のみというのは従来の建築物構造上であると思うが、今後の整備計画の実現性を考えると高齢者・学生の交流の場、多目的に利用するためには、1階とは空間を別にして2階へのトイレ設置が必要なのではないかと。</p>	<p>現在は1階のみを利活用する予定であるため、2階のトイレ設置は整備計画に含まれていませんが、2階部分の利活用を行うこととなった際には、改めて検討してまいります。</p>